

平成28年度酒々井町教育委員会6月定例会議 議事録

開催日 平成28年6月24日(金)

開催場所 役場西庁舎2階第1会議室

出席委員	教 育 長	木村 俊幸	教育長職務代理者	浦壁 京子
	委 員	石井 國治	委 員	村重 浩二
	委 員	林 洋子		

出席職員	教 育 次 長			
	生涯学習課長兼務	木内 達彦	こども課長	七夕 夕美子
	学校教育課長	猪鼻 慎二	中央公民館長	鳩貝 剛
	給食センター所長	木村 修一	プリエール酒々井館長	小川 公一
	こども課副主幹	伊藤 雄三	こども課主事(書記)	渡邊 しほ

1 開会時刻 14:03

2 議事録署名委員の指名

3 議 題

(1) 議 案 (公 開)

議案第1号 教育委員会の点検・評価に関する報告書(案)について

議案第2号 墨古沢南I遺跡調査指導委員会委員の委嘱について

(2) 報 告 (公 開)

報告第1号 行政報告について

報告第2号 平成28年度6月補正予算の議決について

4 次回会議の予定 7月27日(水)午後2時 西庁舎2階第1会議室

5 教育長・教育委員の予定

6 その他

7 閉会時刻 16:13

議 事 録

1 開会の言葉

木村教育長

ただ今より、平成28年度酒々井町教育委員会6月定例会議を開会いたします。

2 議事録署名委員の指名

木村教育長

議事録署名委員の指名を行います。村重委員にお願いします。

3 議 題

木村教育長

これから議事に入ります。本日の議題は議案が2件、報告が2件となります。

本日の議題につきましては、非公開にすべき案件はございません。したがって、本日の議題はすべて公開案件となりますので、ご了承ください。

はじめに議案第1号「教育委員会の点検・評価に関する報告書（案）について」を議題といたします。

事務局から説明願います。

七夕こども課長

はい、議長

木村教育長

こども課長

七夕こども課長

議案第1号「教育委員会の点検・評価に関する報告書（案）について」ご説明させていただきます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により実施する、教育委員会の点検・評価に関する報告書の（案）を作成しましたので、酒々井町教育委員会行政組織規則第5条第9号の規定により議決を求めるものでございます。

1 ページ目は、はじめにといたしまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」として、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされており、さらに、点検評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされており、評価委員会委員として、3名の方をお願いして、平成27年度の教育委員会の点検・評価を行ったものでございます。

2 ページは、教育委員会会議の開催状況等と教育委員会会議での審議状況を掲載

しており、平成27年度は、審議案件34件と報告事項27件、協議事項2件という状況で、3ページに月別の審議案件等の概要を掲載しております。

4ページは、4.事務事業の点検・評価の目的及び対象として、各課、教育機関における主要事業を中心に、33事業について、点検・評価を行いました。

5.点検・評価の方法として、取組状況（達成度）をAからEの5段階評価で、方針の分類（今後の方向性）を7段階に評価する方法で行いました。

6.評価の結果として、取り組み状況（達成度）といたしましては、予定どおり順調に達成している事業が25事業、おおむね順調に達成している事業が5事業、達成見込みであるが課題がある事業が2事業、達成できなかった事業が1事業であり、方針の分類（今後の方向性）として、拡大する事業が2事業、現状維持の事業が27事業、改善を要する事業が4事業でありました。

7のまとめですが、中段に評価を実施した主要事業につきましては、事業の目的に従い、計画的に実施されていることから概ね適正かつ順調に執行されているものと判断しておりますが、実施方法に工夫や改善が必要である事業が見受けられますので、次年度の予算編成や事業計画を策定する上で検討を重ね、さらに町民の皆様のご意見を取り入れながら、高まる教育ニーズに対応することが必要であると考えております。

具体的なものにつきましては、6ページからの平成27年度教育施策評価一覧表をご覧ください。

主な事業につきましては、7ページの平成27年度 教育施策体系図の「主な事業」の中の太字で表示されたものにつきまして、点検・評価を行いました。

先ほど申し上げました方針の分類（今後の方向性）として、拡大の方向であるもの2事業と、改善の方向であるもの4事業についてご説明させていただきます。

拡大の方向の事業の一つ目は、14ページ①人権・同和教育の推進でございますが、28年度に酒々井小学校での公開研究会の実施が予定されており、予算も増額となっているものです。二つ目は、17ページ⑤部活動支援事業の推進でございますが、部活動の大会への参加の予算を前年度よりも増額したものでございます。

改善の方向の事業の一つ目は、28ページ④公民館主催の各種講座の拡充と学習成果の活用でございますが、青樹堂師範塾につきましては、希望者が少ないため、名称、目的、内容まで見直しをしていくこととしております。二つ目は29ページ③公民館施設の耐震補強工事でございますが、設計の変更と工事費用の更正を実施したうえで、工事を行う予定です。三つ目は35ページ⑤まちの顔づくり推進事業でございますが、平成27年度に作成した「酒々井町歴史文化基本構想」に基づき保存・活用を進めていくこととしております。四つ目は39ページ③キャリア教育の推進でございますが、実施方法を変更して行うこととしております。以上です。

木村教育長

事務局の説明が終了しましたので、これより質疑に入ります。ご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。

浦壁職務代理者

はい、議長

木村教育長

浦壁職務代理人

浦壁職務代理人

39ページの学校教育課の担当部分ですが、キャリア教育の推進の今後の方向性が、改善となっております。今までそれぞれの立場から話をうかがっておりますと、小学校も中学校もキャリア教育をちゃんとやっている、これだけ皆さんにお世話になっていてよかったな、と思う気持ちだけがあったのですが、改めて表にすると改善ということでしたので、どういうところをこれから具体的に改善していくのか教えてください。

猪鼻学校教育課長

はい、議長

木村教育長

学校教育課長

猪鼻学校教育課長

39ページの課題・問題点のところ、改善すべき内容が書いてあるのですが、小学校では「ゆめ・仕事ぴったり体験」、中学校では「職場体験学習」と言っておりますけれども、今年度と昨年度で変わったことは、酒々井小学校と酒々井中学校は、夏休み中に実施するようになりました。例年ですと9月になって授業が始まってから実施していたのですが、夏休み中に実施することとなりました。余裕のある時間等に行うということになります。大室台小つきましては、今まで「体験学習」と書いてあるとおり、校外の事業所で体験することが主だったのですが、文科省の考えも変わりました、体験だけがキャリア教育じゃないということで、大室台小学校では、実際に事業所に行くのではなくて、事業所の方から関係者を学校へ呼んで、体験は減ると思いますが、仕事の内容の説明ということで、体験なしでもよいことになりましたので、時間の確保や学校の負担の軽減にも繋がるということで、取り組んでいます。以上です。

浦壁職務代理人

はい、議長

木村教育長

浦壁職務代理人

浦壁職務代理人

それは改善というレベルに入るのでしょうか。もう少し良い評価でもいいのではないのでしょうか。特別悪くなったということではなく、方向性が変わったことなので、それを善しとすればいいことなのではないのでしょうか。納得はいたしました、もったいない評価だと感じました。

猪鼻学校教育課長

はい、議長

木村教育長

学校教育課長

猪鼻学校教育課長

悪かったものを良くしたというわけではないのですが、この中の選択肢としては、変更というものが無いので、学校への負担が軽減されて、かつ、こども達の得るものは失っていませんので、そういった部分では改善されたのかなと思います。変更という言葉の方が正しいとは思いますが。

浦壁職務代理者

評価の段階がもう少しあってもいいのではないかと思ったものですから、伺いました。

木村教育長

これは、27年度の教育施策の評価をしているのですよね。それはどこに反映させるかという、29年度事業に反映させるというのが基本線なのですか。予算が絡んでくると28年度に反映させるというわけにはいかないですよね。

伊藤こども課副主幹

はい、議長

木村教育長

こども課副主幹

伊藤こども課副主幹

事務局から予算のスケジュールと、この教育施策の評価との関係をご説明させていただきます。教育施策の評価につきましては、昨年度の9月の末に中間点検を行っております。中間点検は、今年度の予算編成前の時期ですので、中間点検の結果、予算に反映させられるものは、反映している部分もあろうかと思われまます。ただし、すべてが予算に反映されているわけではないので、28年度に反映させようとしたものの、実際は予算化されていないものもあった、あるいは、今回の3月末の状況を受けて、29年度のこれからの予算に反映させていくものもある、そのようなスケジュールと今回の評価の関係になっていけるとご理解いただければと思います。以上です。

木村教育長

9月末の中間まとめの段階として、特に28年度に予算要望したい、という判断がされたものは、最終報告まで待たずに要望した、そういうものもありますよ、という捉え方ですね。

猪鼻学校教育課長

はい、議長

木村教育長

学校教育課長

猪鼻学校教育課長

予算は一切ついておりませんので、変更はなく、事業の方向を変えたということになります。

木村教育長

28年度に反映させたということですね。

伊藤こども課副主幹

はい、議長

木村教育長

こども課副主幹

伊藤こども課副主幹

今のは時系列の話と関係してくるのですが、学校教育課の部活動補助金につきましては、拡大という形に今回なっています。27年度に関しましては、決算額は26年度と同額ですが、28年度は若干予算計上額が上がっております。27年度の教育施策評価といたしましては、決算額や事案の内容は前年度と同じですが、28年度に向けて予算が拡大されましたよ、反映されていますよ、という意味合いで、この施策は拡大になっているのではないかと思います。こうして説明をしないとわからない部分もありますが、ご了承いただき、ご質問があれば逐次お答えさせていただきます。以上です。

村重委員

はい、議長

木村教育長

村重委員

村重委員

18ページの特色ある教育活動の支援で、中学生国際交流派遣事業の推進の評価委員の評価として現状維持となっています。意見としては、費用の2分の1を町が補助するのは大変なことだが、この補助により、参加できる生徒がいることも確かだと思われるので、今後も将来を背負って立つ、やる気に満ちた生徒が、国際交流に参加できるような体制を維持していただきたい、という評価・意見をいただきまして、私の意見といたしましても同意見です。私の娘もこの4月に抽選によりまして、参加することとなりました。送り出す側としてもしっかりと勉強してほしいと思いついて、将来的に空港が近いということがありまして、空港等で就職してもらいたいという親としての意見もあります。酒々井町は町に一つの中学校しかなくて、こういう体験ができるのは、非常に恵まれていると思いますし、近隣の市町村は市内に数十校あったりするので、酒々井町の酒々井中は非常に恵まれた環境だと思います。今後とも継続してやる気に満ちた生徒たちに育ててほしいと思います。以上です。

木村教育長

これにつきましては、28年度は少し予算を拡大していましたが、それはどういうことなのでしょう。

猪鼻学校教育課長

はい、議長

木村教育長

学校教育課長

猪鼻学校教育課長

予算にすると厳密には拡大なのですが、燃油サーチャージといたしまして今までですと、大体4,5万掛かっていたものが、参加者の負担だったのですが、今年度それを町が補助するということになりましたので、実質、参加費の2分の1だけで済

むことになりました。時期的なものですが、燃油サーチャージが下がっております。もしくは、掛からない可能性もあります。掛かったとしても個人負担にはならないという意味では、予算を拡大してありますので、厳密に言うと予算の面では拡大になりましたが、事業の面で拡大だとか、内容が多くなったとか、1日増えたとかということではありませんので、ご了承ください。以上です。

木村教育長

他にご質問等ございませんでしょうか。

林委員

はい、議長

木村教育長

林委員

林委員

39ページの積極的な教育行政ということで、先ほどキャリア教育の話が浦壁委員からありましたが、今年度より「ゆめ・仕事ぴったり体験」あるいは「職場体験」が変わって、酒々井小学校、酒々井中学校については、夏休み中に実施するというので、時間を確保できるということで、ゆっくりとした体験ができるのかな、と思いつつも、大室台小学校は、体育館で話を聞くということになるのだと思います。そうなったときに、今までの体験の場合には、一人の子が一つの事業所を体験するというところだったと思いますが、一度に集まってたくさんの事業所のことを聞けるということは、大きなメリットがあるのかな、と思います。しかしながら、体験したことと聞いたことだけと考えると、子ども達にとっては、どちらがいいのかな、と思うところがあります。問題点や課題点を整理して吟味したい、とありますけれども、体験に近いような体育館での進め方というのが大切になってくると思います。その辺のところの配慮を合わせてお願いいたします。

猪鼻学校教育課長

はい、議長

木村教育長

学校教育課長

猪鼻学校教育課長

大室台小学校での内容は詳しく存じていないのですが、タイトルからすると体験という言葉は、小学校でも中学校でも使われておりますので、重きを置くというイメージがあります。こういう事業名ではありますが、体験するというところに重きを置き過ぎていたという反省がありまして、子ども達が社会の事業、仕事を知る上には体験だけではなくて、他の方法もあるということで、少し広げて事業を捉えるように国としてもやっておりますので、方向として変えたこととなります。今年度、実施してみて色々な課題が出てくると思いますので、28年度に活かせるようにということで検討してもらいたいと思います。

石井委員

はい、議長

木村教育長

石井委員

石井委員

15 ページの特色ある教育活動の推進ということで、今年度も開始されているのですが、課題・問題点にありますように、28年度からは完全公募制とし、自主的な応募が増えていくように各小中学校に促していきたい、と。もちろんそのとおりでとは思いますが、すでに28年度が始まって、具体的にそれには間に合わないのので、29年度からこういうことの方でお願いできればと思っております。

猪鼻学校教育課長

はい、議長

木村教育長

学校教育課長

猪鼻学校教育課長

今年度から完全公募制になっております。そもそも自主的なものであったのですが、流れとして予算を均等にとり、あるいは、執行しないとイケないということで、各校に1件ずつ出るような半ば強制的なものがあつたものですから、完全公募ということで、今年度で言いますと大室台小学校からは上がっていない状態で、ゼロになる可能性もあります。ゼロになってしまうと予算執行できなくなって問題ありますけれども、今年度すでに公募制を実施しております。

木村教育長

評価委員の方々から評価委員会議を行った時に、8ページから40ページまで以外の意見があつたと思いますが、その他の意見として含めた方がいいのではないかと思います。来年度からの検討事項としてお願いいたします。

他にご質問等ございませんでしょうか。

ご質問等がないようですので、これより採決を行います。

議案第1号「教育委員会の点検・評価に関する報告書（案）について」原案に賛成の方は挙手を願います。

（挙手全員）

挙手全員です。したがって、議案第1号は原案どおり可決されました。

続きまして、議案第2号「墨古沢南Ⅰ遺跡調査指導委員会委員の委嘱について」を議題といたします。事務局から説明願います。

木内生涯学習課長

はい、議長

木村教育長

生涯学習課長

木内生涯学習課長

議案第2号「墨古沢南Ⅰ遺跡調査指導委員会委員の委嘱について」ご説明させていただきます。

国史跡指定を目指し、発掘調査等を進めている墨古沢南Ⅰ遺跡について、今後の遺跡の調査・研究及び保存等を的確に実施し、専門的立場から検討及び助言を行うことを目的とする墨古沢南Ⅰ遺跡調査指導委員会委員について墨古沢南Ⅰ遺跡調

査指導委員会設置要綱第3条及び第8条の規定により下記の者を委嘱したいので、酒々井町教育委員会行政組織規則第5条第12号の規定により議決を求める。

第3条は、委員会は5人以内で組織する、第8条に関しましては、専門委員の選出についての規定でございます。調査指導委員につきましては、文化庁及び県教育委員会と協議し、下記の5名を選出・推薦いたしました。また、専門委員に関しましても同様に、国・県の意見を参考に名前を挙げてございます。調査指導委員の佐藤宏之さんは、東京大学大学院の教授で、旧石器の講師となります。橋本勝雄さんに関しましては、現在県に勤めておりますが、関東の旧石器の第一任者。国武貞克さんに関しましては、元文化庁の職員で、現在、旧石器を調べております。工藤雄一郎さんに関しましては、地質の専門家。八木令子さんに関しましては、古代・原子古代の環境と関係を調べております。専門委員2名に関しましては、いずれも関東をフィールドに旧石器の研究をなされている方で、新田浩三さんは、千葉県教育振興財団、高屋敷飛鳥さんは、神奈川県埋蔵文化財センターでございます。任期につきましては、平成28年度6月1日から平成30年3月31日までとなります。以上です。

木村教育長

議案第2号の説明が終了しましたので、これより質疑に入ります。ご意見、ご質問ございませんか。

木村教育長

私の方からご質問させていただきます。調査指導委員・専門委員について、説明の中でも皆さん相当のその道の第一任者ということで、報酬のことや人によっては住んでいる場所が遠い方がいらっしゃるのでは、そのことについて、補足説明をしていただけるとありがたいのですが。

木内生涯学習課長

はい、議長

木村教育長

生涯学習課長

木内生涯学習課長

予算関係がございますので、なるべく近場の方々を選ばせていただきました。県外につきましては、国武貞克さん、そして、専門委員の高屋敷飛鳥さんのお二人です。国武委員の場合は、現在、奈良にお住まいです。金額予定につきましては、国の報酬基準がございます。1回2万円というような額を考えております。財源につきましては、2分の1は国庫補助対象となります。若干の県費補助も付いてございます。以上です。

林委員

はい、議長

木村教育長

林委員

林委員

回数的には、2年間で何回くらい実施されるのですか。

木内生涯学習課長

はい、議長

木村教育長

生涯学習課長

木内生涯学習課長

最低で年に2回と考えております。調査が始まる前、調査が始まった後、あとは案件次第でプラスアルファとなると思いますが、年に4回、5回になることは、まず、ないと思います。

浦壁職務代理者

はい、議長

木村教育長

浦壁職務代理者

浦壁職務代理者

これだけの方々をよくお集めになられたな、という感想が第一なのですが、調査指導委員と専門委員の具体的な仕事の内容というのは、どのような違いがあるのでしょうか。

木内生涯学習課長

はい、議長

木村教育長

生涯学習課長

木内生涯学習課長

調査指導委員につきましては、遺跡の物だけではなく、環境を含めた形に目配せができる方という形でございます。専門委員に関しては、関東の旧石器のエキスパート、物のエキスパートですので、現場の第一線でやっている方をお願いしております。

木村教育長

他にご質問等ございませんか。

ご質問等がないようですので、採決を行います。

議案第2号「墨古沢南Ⅰ遺跡調査指導委員会委員の委嘱について」原案に賛成の方は挙手を願います。

(挙手全員)

挙手全員です。したがって、議案第2号は原案どおり可決されました。

以上で、議案の審議を終了いたします。

続きまして、報告に入ります。報告第1号「行政報告について」を議題とします。

本日も午前中は教育委員全員で佐倉中央公民館に行って、教科書採択に関わる展示本を閲覧するなど勉強会を実施しましたが、前回定例会議以降、委員全員が参加した会議や研修会、学校訪問などが多くありました。また二手に分かれての参加もありました。そういうわけで、皆様からは、あらかじめ分担してご報告いただくことになっておりますので、後ほどご発言いただきたいと思います。はじめに、私から、皆さんとご一緒になかった、つまり私だけが出席した行事のうち主な行事につ

いて報告いたします。

まず、中学校を会場として5月29日（日）から始まりました、中学生の希望者を対象とした学びの場である「未来塾」についてですが、初日のこの日は、29名の生徒が参加しておりました。登録は47人ですが、部活動などで都合がつかなかった生徒が多かったように思いました。特に3年生については部活動の郡大会が終了するまでは、やむを得ないかなと思います。6月に入ってから毎日曜日実施しております、今度の26日が5回目となります。生徒の様子についてですが、真剣さが強うかがえ、とてもよい雰囲気だったと感じました。追加申し込みに関しては受け入れたいと思っております。また、学期末の三者面談などの機会に、学校側が参加させたいと考えている生徒に対して先生方から声かけをしてほしい旨、校長先生にお願いいたしました。

次に、6月2日に酒々井中学校で行われました酒々井町小中学校ふれあい交流会について報告いたします。これはそれぞれの学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の参加によるもので、今年は約40名の児童生徒が参加していました。在籍数はもっと多いのですが、情緒学級の児童の参加が少なかったようです。保護者の方は20名くらい参観されておりました。私は閉会式までおりましたが、その間、保育園の園長や校長先生方、担任の先生方から、個々の児童生徒の成長ぶりを伺っていたのですが、子どもたちの活動する様子を見ていて、そうした話に合点しました。中でも、小学校に入学した頃は歩くことさえままならない子が、今はこうして元気に走っているということを知り、目でその姿を目にして、心から感動いたしました。特別支援教育の必要性、重要性、成果の一端を再認識した次第です。

次に、5日に行われました順大裸まつりについてですが、この日は朝方雨模様だったため、開会セレモニーは公民館講堂で行われました。講堂という圧縮されたエリアのため、会場内の雰囲気は緊張感と集中力が凝縮していたせいも、盛り上がる時は大変爆発的でした。来賓挨拶で町長が「卒業後も酒々井町に」と呼びかけたところ、学生たちの中でどっと笑いが、続いて大きな拍手が起こりました。これをどう受け止め評価するかは微妙なところですが、学生たちの酒々井町への好意度は結構高いものがあるなと感じました。セレモニー終了後は、回復した天気の中を、酒樽神輿が威勢よく出発し、町民から水をかけられながらのふれあいが繰り広げられました。こうした催しが開催されることをうれしく思うとともに、順大生の様々な分野での活躍を心よりお祈りした次第です。

最後に、18日（土）に酒々井町総合公園で行われました印旛郡市少年野球大会について報告いたします。今年度の4回目になる今大会は、5年生、または5年生以下の児童で構成されたチームであるとのことでした。出場チーム数は22チームでしたが、うち4チームが複数の団体からなる混合チームということで、少子化がこんなところにも影響を及ぼしているんだと実感いたしました。当町からは酒々井ビッグアローズが参加していましたが、入場行進は昨年同様、どのチームよりも素晴らしかったことが印象に残っています。地元開催に相応しく、堂々としていたことが大変うれしく誇らしく思いました。昨年のこの大会での優勝チームは県大会でも優勝し、県代表として関東大会に出場し、3位だったそうですが、今年も大いに期

待したいと思っております。

以上で私からの報告を終わります。

なお、現在工事が中断となっております青少年交流の家に関することと、10月2日開催予定の千葉氏まつりについては、後ほど木内教育次長がご報告いたします。

それでは、冒頭申し上げましたとおり、委員の皆様から分担に従ってご報告いただきたいと思っております。

浦壁職務代理者

はい、議長

木村教育長

浦壁職務代理者

浦壁職務代理者

それでは、私ども教育委員として、研修等に臨んでまいりましたので、日付の順にご報告させていただきます。まず始めに、5月27日、28日の関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会に、教育長含め、5人で行って参りました。このことについて、石井委員と村重委員ということでお願いいたします。

石井委員

はい、議長

木村教育長

石井委員

石井委員

今、お話がありましたように、関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会に行参りました。教育委員全員泊りがけで行ってきたわけなのですが、余談ですが、この間、村重委員の運転によりまして快適なドライブだったと思っております。初日の総会及び研修会の感想を申し上げますと、当日は東京都の市町村をはじめ、関東6県、その他近隣の静岡、山梨、長野、新潟の各地から教育委員さん及び一部の行政の方も参加されておりますけれども、名簿を数えますと1,230名の出席となっておりますのでございます。文科省の審議官からは、教育に係わる今後の方向性を年代として資料を基に講演がありました。この中には、次世代の学校、地域の創生プランということで、大臣の馳プランと唱っておりますけれども、そのような資料もございました。また、記念講演といたしまして、オリンピックを間近に控えまして、順天堂大学出身のスポーツ庁長官、鈴木大地、私たちにも馴染み深い方ですけれども、この方が、「スポーツの価値を高めるために新しいスポーツ行政の形を」という演題で講演されました。この講演につきましては、配付資料は特にありませんでしたけれども、中身を説明しますと、スポーツによる健康増進、地域経済の活性化、国際的視野を持ち、世界でも活躍する人を育成、心身ともに健康で文化的な生活を営むことができる社会の実現、学校における子どものスポーツ機会の充実ということを主題に講演されておりました。酒々井町でも生涯学習課を通じまして、各種スポーツ教育、大会の開催、体力づくり、また、仲間づくりを目指しておりますけれども、これも地元が一番身近なこととして、もっとPRする必要があると感じています。以上です。

村重委員

はい、議長

木村教育長

村重委員

村重委員

私は5月27日の関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会の翌日に行われた、自主企画研修会の報告をさせていただきます。宿が青梅市だったことから、このエリアで酒々井町と照らし合わせて、比較対象できるスポーツ等を選び、見学させていただきました。青梅駅は、東京駅からの距離は56kmとほぼ酒々井町と同距離で、かつては、青梅街道の青梅塾として栄えたそうで、我が酒々井町も酒々井塾として栄え、なにか佐倉や酒々井の界限に似た雰囲気を感じさせる町がありました。まずは、多摩川沿いにある国指定重要文化財、旧宮崎家住宅を拝見させていただきました。この住宅は、元北小曾木村字夕倉という山荘にあったものを青梅市釜の淵公園内に移築したので、ごく平均的な一般農民が住んでいた民家で、19世紀初頭の建物です。酒々井町には町指定登録指定文化財の島田家などがあり、町の顔の一つとして重要文化財を後世に受け継ぐことが、我々の使命だと思いました。青梅市には、この他にも都指定有形文化財、旧吉野家住宅と都指定有形民俗文化財の旧稲葉家の住宅跡があり、時間の都合で拝見できませんでしたが、ぜひ機会があれば見に行きたいと思います。

次に向かったのは、同じ釜の淵公園内にある、青梅市郷土資料館です。この資料館の位置づけは、市民にとって教養の宝庫であり、公有の場であると同時に、勉強に勤しむ人々に対して資料を提供する機関だそうです。旧石器時代から戦中に至るまでの貴重な収蔵品を展示してありました。酒々井の機関では、中央公民館やコミュニティプラザの展示コーナーです。酒々井には共同資料館はありませんが、中央公民館やコミュニティプラザに分散して、展示してあることは現状ではベストであると思います。

次に向かったのは、青梅塾津雲邸です。元衆議院議員、津雲國利の私邸で、昭和初期の建物の中に国宝級の茶道具、陶器、掛け軸等美術品が展示してありました。前日から特別展示の幕末維新展が開かれており、勝海舟、近藤勇の借用書や木刀等、明治維新の歴史ファンにはたまらない数々の貴重なものを拝見させていただきました。

次に向かったのは、澤乃井で有名な小澤酒造さんに立ち寄りしました。酒造見学の予約を入れましたが、あいにくいっばいで、奥多摩の多摩川沿いの溪谷のロケーションで、オープンテラスの喫茶コーナー、レストラン、利き酒コーナーと土曜日の昼食時とあって、けっこうな賑わいでした。我が酒々井の飯沼さんにももっとあのような賑わいが欲しいなと思いました。道が整備され、以前に比べ、観光バスに乗ったお客様が増えたものの都心に近く、駅近という利点を生かし、バーベキューやキャンプができる施設を併設させれば、もっと成長できるのではないかと思います。

次に向かったのは、日の出山荘です。中曽根元首相とレーガン元大統領が会談を

行ったところでは、10代20代の若者たちが会談を行った事実を知らない今では、内覧を申し出る人は少ないようで、首相の別荘が譲渡され、今では日出町の管理になっているそうです。歴史を風化させないためにもできる限り保存していただきたいところです。

最後に立ち寄ったのが、道の駅八王子滝山です。土曜日の午後とあって、かなりの賑わいでした。酒々井には道の駅はありません。アウトレット、日帰り温泉ができ、たくさんのお客様が訪れるようになった今日、道の駅を作れば、さらに相乗効果で町は賑わい、酒々井町の農商工業者が潤うのではないかと思います。今回、前日の関東甲信越静岡市町村教育委員会連合総会及び研修会と自主企画研修の機会をあたえていただき、誠にありがとうございました。

林委員

はい、議長

木村教育長

林委員

林委員

私からは、6月1日に千葉県市町村教育委員会連絡協議会定期総会の方に参加させていただきましたので、報告させていただきます。

千教連あるいは、県教連とも呼ばれております。ここでは総会を行ったのですけれども、そのあとに特別講演というものが行われました。その特別講演では、千葉県教育庁の教育総務課の先生から、千葉県内の市町村教育委員会の現状についてというお話をさせていただきました。そのお話の中に教育委員会制度が新しくなったということがありましたけれども、28年4月1日現在で市町村が合わせて54市町村ありますが、27市町村だったそうです。その中で、新教育長制度に進んでいるのは、余談ですが、調べてみましたところ、印旛では成田市と酒々井町だけでした。そして、匝瑳市、香取市、神崎町と多古町と東庄町の合わせて7市町が、新しい制度に少しずつ進んでいるんだな、と思いました。

新制度の千葉県だけではなくて、各県の取り組みの様子ということで、お話をいただいた中で印象に残ったのは、各県で行われているのが、学校と学校教育機関等の視察を行い、その際、教育委員と教職員や地域住民と意見交換の場を設ける、教育委員や教職員との意見交換を実施する、ということです。もう一つは、学校を会場に生徒、保護者、教職員、地域住民を交えて、意見交換を行う教育懇談会を実施する、というような取組も他県で行われているということ伺いました。お話を伺っているときに、我が酒々井町と比べてどうかな、と思い聞いていたのですが、すでに酒々井町については、教職員の特色ある教育活動支援事業に取り組んでおりますし、また、教職員と教育委員会との親睦を深めたり、あるいは、交流する場というのは元々やっているんだな、と感じております。そういうことを考えると、他市町村に先駆けて、酒々井町は進んでいるな、と思っております。先ほどの評価委員会のお話の中でありましたけれども、さらに中身が充実するように、この先頑張っていきたいと思いました。以上です。

浦壁職務代理者

はい、議長

木村教育長

浦壁職務代理者

浦壁職務代理者

私からは、まず、6月2日酒々井小学校ふれあい集会を参観して参りましたので、この報告をさせていただきます。

石井委員と教育長とともに伺いましたが、酒々井小学校では、11月15日に入権の全国公開授業を控えておりまして、その流れの中の第1回目でした。主題は「相手の立場に立って、感じ、考え、行動し、自己有用感を高めることができる児童の育成」としてありまして、「ふれあい活動と道德の時間を中心として」というサブタイトルがついております。これは5月に行いました、教職員の特色ある教育活動プラン審査会において、第2席、第3席で入った提案がここに係わっております。なお、自己有用感とは、自分の言動が、誰かの役に立っている、誰かから必要とされている、という思いを実感するというように、酒々井小学校では共通理解されています。午前中に道德の授業を行いまして、午後はふれあい活動の一つである「ふれあい集会」を体育館で参観しました。保護者参観型で、平日にも関わらず、120名の保護者が出席しておりました。異学年による活動グループを作って、給食、掃除、全校遠足、休み時間の遊びなど、同じ時間を共有して、「より良い人間関係を作る」ということが目的で、実施されています。当日は、グループごとの発表や友達とのゲームを笑顔で行っている様子から、参観していて楽しい内容でした。この日、大変蒸し暑い体育館だったのですが、授業の中で粗相した低学年の女の子がいたのですが、グループのメンバーの児童たち、担当の職員との素早い対応の連携が取れておりまして、その子にとってはハプニングでありましたけれども、大げさにならず、その子の心も傷つけることもなく終わって、日頃の人権教育がここに生きているな、というものを見せていただいた気がして、大変うれしく感じた出来事でした。係わった児童たちは「自己有用感」を実感したかな、と後で思いました。11月の公開までは大変な道のりですが、さらなる成果を期待しているところでございます。

続いて、6月9日の夕刻から講演会に石井委員、林委員と臨んで参りました。これは成年女性のための国際交流講座、「井戸を出た蛙たち」という演題で、ノンフィクション作家のシュミット村木眞寿美氏よりお話をいただきました。明治大正時代に激動するヨーロッパに渡り、さまざまな苦難の中で懸命に生きた日本の女性たちを紹介し、名前は17、8人くらいにのぼったと思います。その中で最後にぬいぐるみのテディベアの誕生のお話を伺いましたが、テディとはルーズベルト大統領の愛称で、狩りに出た大統領が小熊を助けたというところから生まれた世界的なぬいぐるみテディベアなのですが、作者は障害を持つ女性で、この政策によって生きる糧を得たと結んでおりました。何かのヒントがあれば、だれでも頑張れるんだということだと思いますが、「井の中の蛙大海を知らず」というところに触れて、このテーマは、「今の自分の通用は、このことが通用しているということは、世界でも同じと思っはいけない」だから、「今なにをせねばならないのか」と問いかけ

られた気持ちであります。村木氏はドイツ、バイエルン州のドルファン市に在住しており、大都市に接する地方都市として、酒々井町と大変似ており、歴史や遺産、国際空港、高速道路など類似するところが多いということで、酒々井町長からの声掛けでドルファン市の市長から親書を携えておいでくださいました。酒々井町からは今年中に視察職員を派遣する計画もあり、国際交流の大きな足掛かりができたと思っております。これが町の発展に繋がる一助になることを期待したひとときでした。ありがとうございました。

林委員

はい、議長

木村教育長

林委員

林委員

引き続き、6月16日に人権セミナーの講演会に行かせていただきました。これは、家庭教育学級の開校式に引き続いての講演会ということで、お母さま方が聞いていただけるのかなと思っていたのですけれども、それほど人数は多くなかったなと思います。テーマは、「無縁化する子ども達」です。サブテーマで「孤立した家庭で何が起きているのか」ということで、講師は、作家でジャーナリストであります、石川結貴さんという方のご講演でした。元気な子ども達、あるは、酒々井町の地域力ということをもう少し育みたいということが願いで、進められたらと思いますけれども、貧困率の増加、家庭教育の低下、近所付き合いの希薄化など家庭の環境が変化してきているということをお話をされていました。また、親子関係が濃密化している、そして、親の過大な要求、束縛、過干渉ということで、子ども達の逃げ場がない、そういったことで、無関心とか放置とか虐待とか講師の先生は「キジ」という言葉を使っていました。廃棄の「棄」と児童の「児」ですね。それから置き去り、そういった濃密化している部分と、置き去りにして捨てられてしまうということの両極端化されている世の中になっていると。それをサザエさんとポケモンということで両極端の話をしてくださったんですけれども、過去にはサザエさんは我々もよく知っていますが、家族の中でのふれあいがたくさんあるような家庭であったけれども、ポケモンの姿には家族や周りのこととかがほとんどないということで、比較して話して下さってとてもわかりやすかったです。ぜひサザエさんと同じような形で、地域が一人ひとりの子どもをしっかり見ていると、お隣の子がなにをしているのか、お隣の家庭が何をしているのか、わかるような家庭であってほしいな、と思いました。みんなで作り上げていくということが、無縁化するということ無くしていくということに繋がっていくのかなと思いました。できれば、これは教職員にも聞かせたいと思っておりましたけれども、平日ということで、それは叶いませんでしたが、せめて家庭教育学級のお母さま方がもう少し多く参加していただけるとよかったのかなと思っております。以上です。

村重委員

はい、議長

木村教育長

村重委員

村重委員

6月17日金曜日に行われた、酒々井中学校の訪問について報告いたします。5時間目から休み時間を挟み6時間目の間に全クラスを観させていただきました。生徒たちは総じて先生の講義を真剣に聞き、勉強しておりました。この日は蒸し暑い日でありましたが、数年前に整備していただいたエアコンのおかげで、快適に授業を受けられていると思えました。公立小中学校のエアコンの普及率が低い中で、酒々井の子ども達は非常に恵まれていると思えます。保護者を代表いたしまして感謝申し上げます。私が中学生だった頃、それほど大きくなかった桜の木も大木となりその影響で、2階にいる3年生のクラスは薄暗い中で勉強していました。一番暗いクラスは、3階の明るいクラスの約半分程度の照度しかないそうです。不足している照度をLED照明等で補っていただきたいと思えます。ご検討ください。以上です。

石井委員

はい、議長

木村教育長

石井委員

石井委員

村重委員と同じく、酒々井中学校の訪問について報告させていただきます。教育長はじめ、教育委員全員で、訪問させていただきました。私も場所も形も変わっていますけれども、今思えば56年前、酒々井中を卒業しているんだなということで、楽しみにして訪問させていただきました。校長先生の先導で、各教室を時間の限られた中で周らなければいけないために、2、3分くらいの間隔だと思えますが、授業参観をいたしました。授業については、村重委員のお話にもありましたように、まじめに真剣に取り組んでいる様子でありました。私も気になっていました、新1年生、小学生から中学生になった、環境も変わってどうなのかと感じて教室訪問したわけなのですが、小学校と違いましてみんな揃って、酒々井というTシャツを着て、授業に参加する姿は、後姿を見ても大きくなったなという感じがし、頼もしくも感じたわけですね。教育長、先生方全員がいる中でお話しされたんですけども、授業を受ける姿勢については少し問題があると感じて、まだ直っていないんだなと思ったわけなんですけれども、姿勢が悪いことについては、当然のことながら集中力をなくして、学力低下にもつながる原因になると思えます。最後にもう一度校長先生にお話をさせていただいた次第です。環境面では、大木が窓際で、生い茂っておりまして、生徒さんから暗いですという意見が出ております。考えれば、学校行事ですから、半年くらいの期間と夏休みのある期間の我慢かもしれませんが、ぜひ何かしらの対応していただけたらと感じた次第です。それから、蒸し暑い中であっても教室はエアコンがついていたので快適でした。これなら学習意欲も向上すると思えました。このような環境の良さの中で、最後に校長先生にお話しさせていただいたのですが、お子さん方の卒業式に出席した折に180人の卒業生のうち、72人の精勤賞受賞者が出たわけなんですけれども、全体で例えますと4割と大変高

い数字だと私自身が思っております。3年間受験とかそういうプレッシャーを感じつつ生活するのは大したものだと思います。健康な体は何よりの宝だと思います。学校に改めて感謝をして私の発表を終わります。ありがとうございました。

木村教育長

以上で、教育委員のご発言を終わりたいと思います。

続きまして事務局から報告いたします。

はじめに、教育次長より報告をお願いいたします。

木内教育次長

はい、議長

木村教育長

教育次長

木内教育次長

(報 告)

浦壁職務代理者

はい、議長

木村教育長

浦壁職務代理者

浦壁職務代理者

一般質問の中に、学校の組体操についてあがったということですが、それについてはどうのような回答をなさったのでしょうか。

猪鼻学校教育課長

すべてではないのですが、世間では中止になっており、近辺でも松戸市、流山市等が中止になっておりますが、町においては一律に禁止することはしておりませんということ、ただし、実施にあたっては昨年度から各学校へ教育委員会から練習・当日含めてこういったことに注意してくださいということで、周知しております。また、学校でもそれぞれの学校で考えておきまして、怪我のないように、工夫や検討したうえで、実施しております。のちほど、大室台小学校のことも、既に実施済みですので、お伝えしようと思っていたのですが、大室台小学校で言いますと、今年度5月の運動会の際には練習、当日の演技を通して事故はありませんでした。ただ、追加で過去3年間どうだったのか、という質問がありましたので、大室台小学校で平成25年に1件、組体操で崩れたのではなく、降りる際に足を踏んでしまって骨折をしてしまったという事故はありましたが、それ以外は組体操での大きな事故はありません、と答弁しました。今後も事故が無いように学校で指導しながら進めてまいりたいということで、お願いしました。

木村教育長

続いて、こども課から順に報告願います。

七夕こども課長

はい、議長

木村教育長

こども課長

七夕こども課長

(報 告)

猪鼻学校教育課長

はい、議長

木村教育長

学校教育課長

猪鼻学校教育課長

(報 告)

木内生涯学習課長

はい、議長

木村教育長

生涯学習課長

木内生涯学習課長

(報 告)

鳩貝中央公民館長

はい、議長

木村教育長

中央公民館長

鳩貝中央公民館長

(報 告)

木村給食センター所長

はい、議長

木村教育長

給食センター所長

木村給食センター所長

(報 告)

小川プリミエール酒々井館長

はい、議長

木村教育長

プリミエール酒々井館長

小川プリミエール酒々井館長

(報 告)

木村教育長

事務局からの報告が終わりました。

これより質疑に入ります。ご意見、ご質問ございますか。

石井委員

はい、議長

木村教育長

石井委員

石井委員

順大の裸まつりが6月5日に行われました。同日の午後、プリミエールにて津軽三味線のコンサートがあり、主役の演奏家は酒々井在住者、しかも、国際的に活躍している方と聞き出掛けてみました。当日は裸まつりもあり駐車場の混雑が予想され、開演時間より1時間以上も早く出向きましたが、プリミエールの駐車場はもとより、公民館、役場いずれも満車の状態でした。それでも何とか公民館脇に駐車することができました。演奏家の方から、酒々井町に居住している人は手を挙げてください、との問いがありました。350人の満席のなかで、50人～60人の聴取者が挙手されました。残りの300人余りは酒々井町以外から来られた人だと感慨深いものがありました。

皆様は、私同様、駐車場には苦勞されたことと推察されました。この影響か、開演時間を過ぎても来場される方がいて、開演時間が15分以上遅れたハプニングがありました。

プリミエール隣の公共広場では、少年野球チームの練習が行われていました。今日みたいな日は、公共広場は臨時の駐車場にすれば、との思いがありましたが、2週間後に少年野球の大きな大会が予定されており、そのための練習と思えば致し方ないかなと思いました。

コンサートは夕方には終わり、外に出れば裸まつりも終わっていました。町外から来られた方々に本日の機会を利用し、アウトレットや温泉にも行っていただければと思った次第です。皆様には、私同様に駐車場探しに苦勞されたことと思います。今後も同じような場面が想像される場合は、駐車場も含め事前に十分な対策をお願い申し上げます。

木村教育長

順大の裸まつりの期日設定については、町、当局、順大の方で詰めているんですよ。私も去年からということなんですけれども、6月の第1日曜日というふうに、大体固定されているんですか。そして、今話していた、津軽三味線コンサートというのはプリミエール酒々井の主催ではないんですよ。ただ貸館ということですよ。

小川プリミエール酒々井館長

はい、議長

木村教育長

プリミエール酒々井館長

小川プリミエール酒々井館長

津軽三味線については、文化ホールでやりたいということで、おさえてありました。順大の裸まつりが大体その時期にやると決まっていたのですが、コンサートはその日にやりたいとおっしゃっていて、文化ホールもおさえていました。町が主催で行っているわけではないので、調整は難しい部分があります。大体9か月前に9か月先の予約を入れないと取れない状況が多いわけです。もちろん、事前に年間を通しての行事はすべておさえますから、その中で空いている土日祝日なりを一般の方がピアノ発表会やカラオケ大会など、大体9か月前から予約できますので、早めに予約をしないと予約が取れなくなってしまうので、町同士なら調整できますが、

民間でやる場合と町の事業自体というのは難しい部分があります。経済環境課と山車の時間だとかそういうものを把握して、何時に神輿が出るというのは調整して、入場する時間が2時開演でしたので、その辺の調整はあったのですが、今回は順大の裸まつりの開始が20分程遅れてしまいました。駐車場につきましては、順大生はバスで来ますので、役場の駐車場はある程度空いていました。ですから、そちらの方に停めていただきたいというのはコンサート側にお話ししました。それから、町の職員駐車場が3か所あります。そちらの方も事前に使用できるよう頼んでいるので、各課には打合せの時に説明して、町の駐車場3か所に入れていただくようにしたところです。

石井委員

対応はしているということですね。順大のバスなのですが、保健センターに置いたバスが3台あるものですから、完全に駐車場を塞いでしまっているものから、停められないということと、プリミエール入口は誘導員がいなかったと思うのですが。

小川プリミエール酒々井館長

誘導員は2人いらっしゃいました。これは私も確認していますし、お話して行っておりますので間違いありません。もともとプリミエール酒々井は78台しか停められないんですね。その間に図書を利用する人の5台分を確保しているので、実際には図書を利用する方々以外も停めてしまうので、どうしても、もともと席が350席あって、駐車場は78台しかないの、どうしても停められないというような状況で、前は緑地がありましたので、緑地の方に回していたのですが、今囲ってしまっていて緑地の方には停められないので、町行事と調整は難しいと思います。駐車場としては、遠くなりますが職員駐車場、そちらの方には駐車していただくということで、お話をさせていただいています。

木村教育長

貸出に関する場合は、この場合はコンサート側の方々とは当日こういう行事が入るので駐車場はこういう状況なんですよ、という情報は伝えてあるんですよ。それからもう一つ。プリミエールを借りたいと言ってきたときに、この日は駐車場のこととか周りのことを考えた時にお貸しすることができない場合にはお貸ししなくてもいいということ是可以ののですか。

小川プリミエール酒々井館長

はい、議長

木村教育長

プリミエール酒々井館長

小川プリミエール酒々井館長

町行事の場合は、担当課から事前に駐車場としてプリミエールの駐車場は駐車場、また、野球場は事前に生涯学習課に担当課から説明して、その日は野球の練習をしないでいただきたいということで、事前にあった場合には、プリミエール自体で文化ホールの貸館はしないような形は取っています。

木村教育長

課題の部分は把握しておいていただいて、できる範囲のところの対応ということ
しかないと思います。

他にご意見、ご質問ございませんか。

ないようでございますので、以上で「報告第1号」を終わります。

次に報告第2号「平成28年度6月補正予算の議決について」こども課よりご報告
いたします。

七夕こども課長

はい、議長

木村教育長

こども課長

七夕こども課長

報告第2号「平成28年度6月補正予算の議決について」ご説明させていただきます。

平成28年度一般会計の6月補正予算について、6月定例町議会において原案の
とおり可決されましたので、報告いたします。

この件につきましては5月の定例教育委員会会議の案件とさせていただいたと
ころでございます。町議会で原案のとおり可決されたものでございます。教育費
につきましては、1,562万円の増額補正でございます。内容につきましては
11ページのとおりでございます。以上でございます。

木村教育長

事務局からの報告が終わりました。

これより質疑に入ります。ご意見、ご質問ございますか。

(質疑等なし)

ご質問等ないようでございますので、以上で「報告第2号」を終わります。

以上をもちまして、議題については、すべて終了しました。

4 次回会議の予定

木村教育長

続きまして次回会議の予定について事務局より説明願います。

七夕こども課長

はい、議長

木村教育長

こども課長

七夕こども課長

次回会議の予定ですが、平成28年7月27日(水)14時から役場西庁舎2階
第1会議室で予定させていただいております。

併せまして8月の予定ですが、8月26日(金)14時30分から役場西庁舎2
階第1会議室で予定させていただいております。

木村教育長

次回会議は、7月27日（水）14時から、8月は8月26日（金）14時30分から実施するということですがいかがでしょうか。

（全員了承）

木村教育長

それでは、そのようにご予定願います。

5 教育長、教育委員の予定

木村教育長

続きまして、教育長、教育委員の行事予定をお願いします。

七夕子ども課長

はい、議長

木村教育長

子ども課長

七夕子ども課長

（報 告）

6 その他

木村教育長

続きましてその他ございませんか。

七夕子ども課長

はい、議長

木村教育長

子ども課長

七夕子ども課長

（配付資料の確認）

7 閉 会

木村教育長

それでは、以上をもちまして平成28年度酒々井町教育委員会6月定例会議を終了いたします。（16：13）

議事録署名 教育長

委員

議事録作成職員

こども課